

発展途上社会から成熟社会へ

発展途上社会:生産力も社会資本も不足

官民一体で生産力増強 → 経済成長
儉約、投資拡大 → 経済成長

成熟社会:十分な生産力 > 需要

欲しい物の減少 → 金への欲望 → バブルと不況

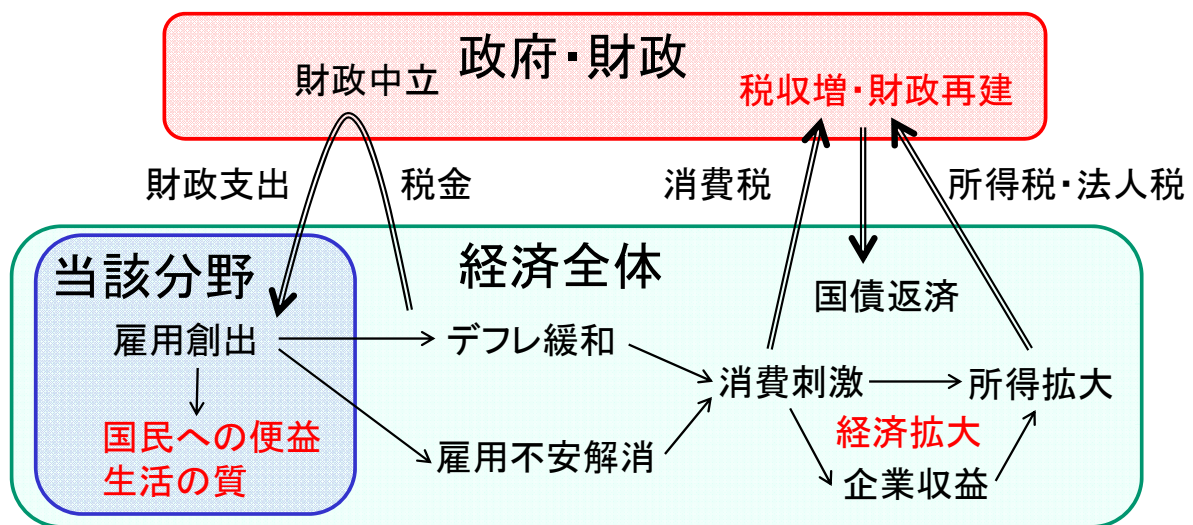
創造的消費 豊かな社会像の提示

需要不足下の供給力強化 **逆効果!**

生産力増強 → 失業拡大 → デフレ不況・格差

1

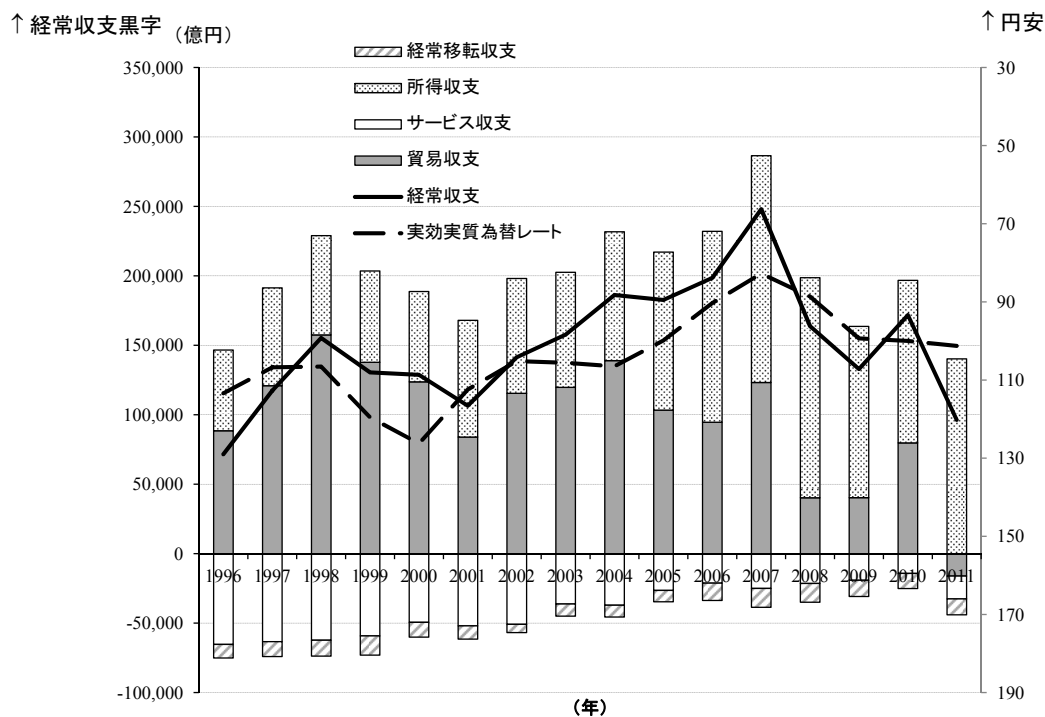
生活の質向上・経済拡大・財政健全化



支出の「大きな政府」vs.「小さな政府」:無意味な論争
支出額による乗数効果:無意味

2

経常収支



(備考) 財務省「国際収支統計」による(名目)

5

2つの国土像

- 1) 農業をやめて工業、農業の工業化
工業で都会に人口集中、地方の荒廃
- 2) 農業保護 都会にも地方にも人口存在
2つの目的の「公共事業」
 - ① 高齢者の健康維持、生き甲斐
 - ② 国土保全

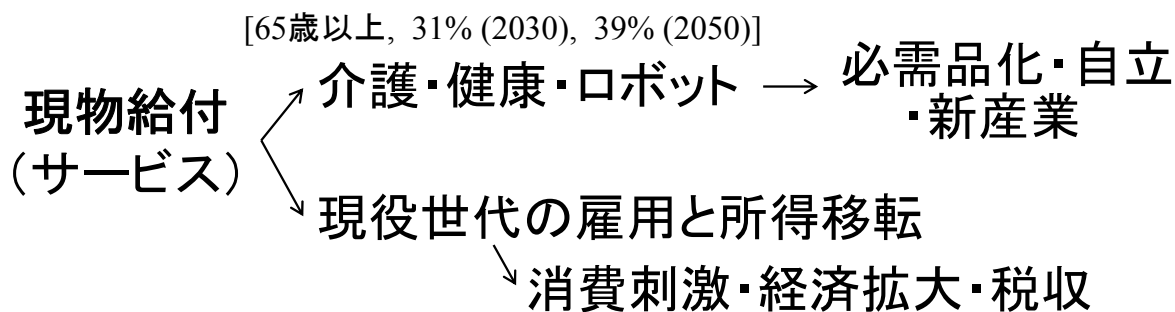
農業政策

- ① 関税撤廃 → 消費者利益
- ② 過去の実績まで生産補助金 → 国土保全 + 高齢者対策
- ③ それ以上は国際価格で自由競争、規制緩和
→ 意欲ある農業従事者の自由競争

6

年金制度：現金vs.現物

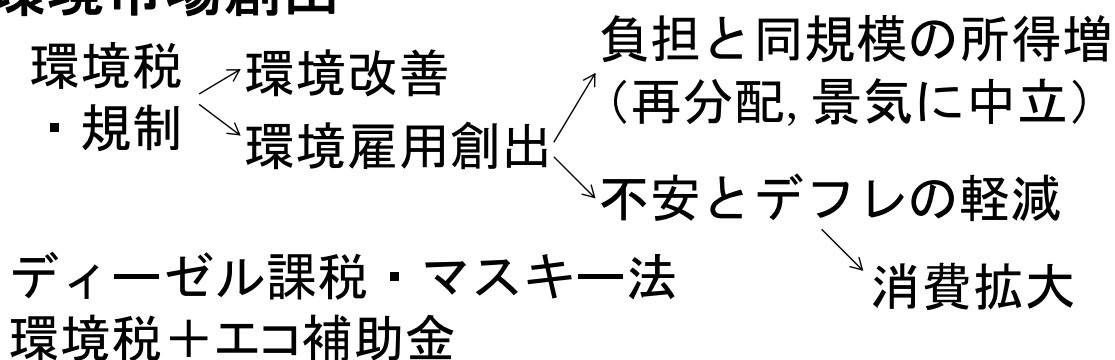
現金給付： 現役世代から高齢者に所得移転
高齢者：金融資産の大半保有、消費性向低い
「受給年齢の繰り上げ」と「消費税など財源確保」
間を埋めるため退職年齢繰り上げ ↔ 若者の職場
供給力強化 → 需要不足下で対立



7

需要創出：他の例

環境市場創出



子供手当：現金支給vs.現物給付

現金支給 → 単なる再分配
現物支給や保育園充実 → 直接便益と雇用創出

8

